

第3章 烏丸地区のまちづくりの方向性

烏丸地区基本構想は、京都市基本計画や京都市都市計画マスタープランなどの京都市の上位計画に掲げられている“バリアフリーのまちづくり”の一環として位置付けられるものです。

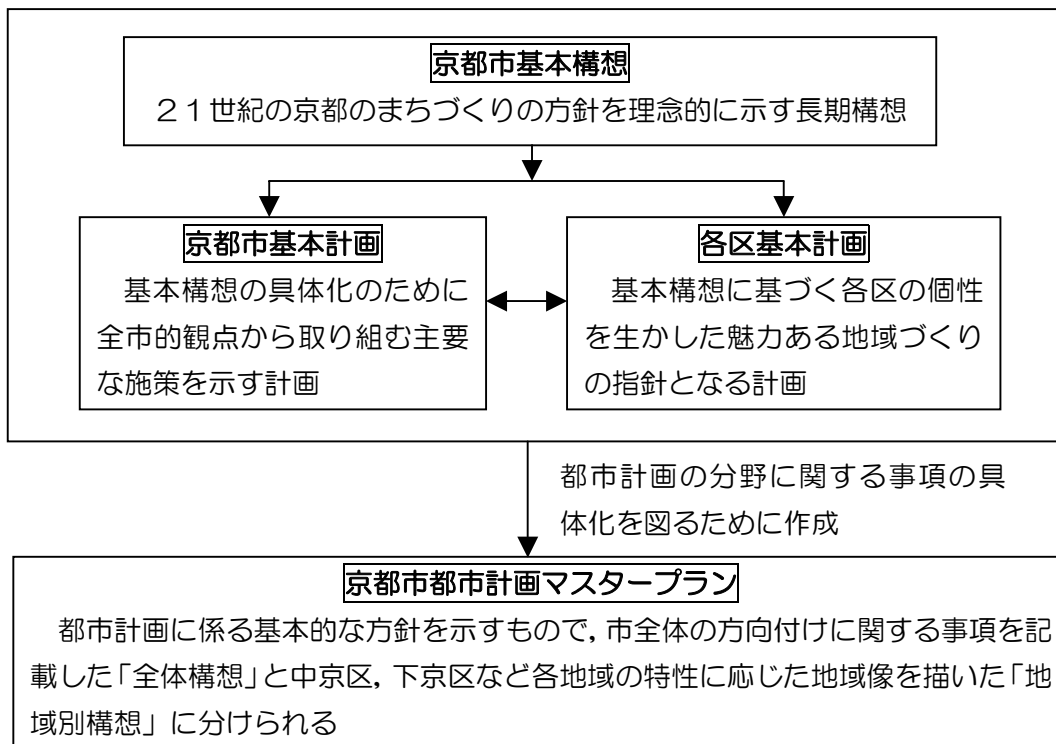
一方、烏丸地区基本構想は、阪急烏丸駅及び地下鉄四条駅を中心とした比較的狭い地域を対象としたものであるため、地区の特性やまちづくりの方向性にも十分配慮した構想とすることが必要となります。

このことから、烏丸地区基本構想を策定するに当たり、まず、京都市の上位計画における中京区、下京区のまちづくりの方向性を踏まえた上で、烏丸地区のまちづくりの方向性を整理することとします。

1 上位計画の構成

上位計画の構成を図-6に示します。

図-6 上位計画の構成



2 中京区のまちづくりの方向性

中京区のまちづくりの方向性は、上位計画の中の中京区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想から以下のように示すことができます。

(1) 中京区基本計画

中京区基本計画では、目標像である「にぎわいのある中京」の実現に向けたまちづくりの目標と取組を提示しており、この中で以下の6つの重点施策を掲げています。

- ① 和装とファッション産業の拠点づくり
- ② 伝統の技と文化のまちづくり
- ③ 全ての区民と来訪者に優しいまちづくり

- ④ 地域活動の活性化と住民の連帯感あるまちづくり
- ⑤ 朱雀地域のまちづくり
- ⑥ 中京東部の産業・観光振興のまちづくり

(2) 京都市都市計画マスタープラン

京都市都市計画マスタープランの地域別構想においては、中京区のまちづくりについて以下の4つの目標を掲げています。

- ① 都市居住からみた目標
職と住が共存し、多世代が住み続けられるまち
- ② 都市活動からみた目標
都心にふさわしい活力ある産業とにぎわいのあるまちをつくる
- ③ 都市環境からみた目標
個性ある町並みやきめ細かな自然を生かしたまちをつくる
- ④ 都市交通からみた目標
にぎわいと文化あふれる、歩いて楽しい魅力的なまちをつくる

3 下京区のまちづくりの方向性

下京区のまちづくりの方向性は、上位計画の中の下京区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想から以下のように示すことができます。

(1) 下京区基本計画

下京区基本計画では、将来像である「であい ふれあい 町衆のまち いきいき下京」の実現に向けたまちづくりの目標と取組を提示しており、この中で以下の5つの構想（リーディングプロジェクト）を設定しています。

- ① のんびりゆったり歩くまち構想
- ② にぎわい門前町ルネッサンス構想
- ③ 個性と魅力を伝える情報のまち構想
- ④ みんなで支え合うやすらぎのまち構想
- ⑤ 楽しく学びふれあう学習のまち構想

(2) 京都市都市計画マスタープラン

京都市都市計画マスタープランの地域別構想においては、下京区のまちづくりについて以下の4つの目標を掲げています。

- ① 都市居住からみた目標
職と住が共存し、多世代が住み続けられるまちをつくる
- ② 都市活動からみた目標
都心にふさわしい活力ある産業とにぎわいのあるまちをつくる
- ③ 都市環境からみた目標
寺院や町並み、きめ細かい自然を生かしたまちをつくる
- ④ 都市交通からみた目標
にぎわいと文化あふれる、歩いて楽しい魅力的なまちをつくる

4 烏丸地区のまちづくりの方向性

上位計画に示されている中京区、下京区のまちづくりの方向性を踏まえ、烏丸地区のバリアフリー化を推進していくに当たって配慮すべき烏丸地区のまちづくりの方向性を以下のように整理します。

(1) 「職」と「住」の共存できるまちづくりの推進

活発な伝統産業や都市型コミュニティ産業と都市居住が調和した「京都の顔」にふさわしい地域としてのまちづくりを推進します。

(2) 歩くまちの安全、安心、快適な環境づくりの推進

歩くモデルルートを中心に、バリアフリー化にみんなで取り組み、歩行者、自転車にとって安全で快適な環境づくりを推進します。

(3) 地区への来訪者にやさしい施設整備の推進

まちのにぎわいを支える多くの来訪者にとって、利用しやすい安全で快適な施設整備を推進します。

(4) ふれあい、支え合う仕組みのあるまちづくりの推進

伝統的に受け継がれているコミュニティを維持、継承し、さらに地域の連帯感を深め、やすらぎのあるまちづくりを推進します。